

4 より多くの患者さんに陽子線治療を

地域と共に、患者さんにとって 満足度の高い治療をめざしたい

当センターでは陽子線治療はあくまでがんに対する限定的な治療であり、患者さんのことを普段から診ておられる連携医の先生方と密に連携を取りながら、一緒に治療を進めていきたいと考えています。ご紹介の際、陽子線治療の適応が不明確な場合は右上のQRコードからチェックシートをダウンロードいただき、FAX送信をお願いいたします。

「陽子線治療は高額なので、患者さんの負担が大きいのでは…」とご心配のお声もありますが、先にご紹介したように公的医療保険の適用範囲も拡大されており、併せて高額療養制度を活用すれば患者さんの費用負担は大幅に軽減されます。また公的医療保険適用以外のがんについては、民間医療保険の「先進医療特約」を利用できます。患者さんがご加入されている保険会社から限度額までの治療費が支払われますので、保険証書をご確認ください。

さらに、先進医療特約に入られていない方に対しては、福井県から優遇制度が適用されます。①陽子線治療費(240～260万円)について1治療あたり25万円を減免、②嶺南地域・石川県(加賀市を除く)・富山県にお住まいの方に対し、通院1回あたり3000円の助成、③治療費を金融機関から借り入れる場合、年利率6%以内の利子補給、の3つの優遇制度があります。こちらもぜひご活用ください。

最後に、当センターでは本年度より陽子線治療機器の更新を予定しています。できる限り治療を止めずに更新を行えるよう配慮していますが、患者さんにはご不便をおかけすることもあるかもしれません。何卒ご理解ください。今後ともご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

詳細は当センターの
サイトからどうぞ!



陽子線治療を受けた 患者さんからの声

陽子線治療を経験された患者さんからの、
実感のこもった感想やアドバイスをご紹介します。

- 副作用が思っていたより少なかった。(脳腫瘍、20歳代、女性)
- 多分外科手術をしていたら、もっと苦しい状況が続いたと思います。また外科手術であれば、生存率は低かった可能性が大。(食道がん、70歳代、男性)
- セカンドオピニオン、サードオピニオンまで納得するまで調べたほうが良いです(私はサードオピニオンでした)。(肉腫、50歳代、男性)
- 薬で、仕事をしながらできるので大変良い。(肺がん、60歳代、男性)
- がんも人生の貴重な経験の一つ。頭頸部の場合は陽子線治療にするべきだと思う。(骨肉がん、40歳代、男性)
- 食道がんの治療後、間を置かず前立腺がんが見つかり、陽子線治療を受けたが、幸いなことに普通の生活をしている。ありがたいことです。(前立腺がん、70歳代、男性)
- 陽子線治療を知らない人が多いので、もっとみんなに知ってほしい。一人で悩まずに、先生に相談する。この先生はよく説明してくれます。(肺がん、60歳、男性)
- 「3カ月ほどの通院で治るからね」という励みの言葉を信じて頑張ることができました。(肝臓がん、70歳代、男性)
- 治療が終わったような感じがしない。(前立腺がん、70歳代、男性)

